



# あかね

Vol. 5

平成 30 年 8 月 発行  
独立行政法人国立病院機構  
東近江総合医療センター  
広報委員会

## 尿路結石症の治療について

泌尿器科医長 坂野 祐司

今年の夏は猛暑続き。汗をかいて尿量が少なくなると、濃くなって尿路結石が出来やすくなります。例年に比べ、今年は尿路結石の患者さんが多いです。

尿路結石症とは、尿路(腎・尿管・膀胱・尿道)に結石ができる病気です。統計では、男性 7 人に 1 人、女性 15 人に 1 人が一生の間に一度は罹る病気です。

### ① 保存的治療

鎮痛剤による疼痛コントロールを行い、飲水を促して尿量を増やし、自然排石を期待します。結石が大きくなるに従い排石率は低下します。9mm 以上になるとほぼ 0% で、自然排石は期待できません。

一部に溶解療法が期待できる成分(尿酸、シスチン)はありますが、全体の 90% 以上を占めるカルシウム含有結石(シュウ酸カルシウム、リン酸カルシウム)は溶けません。

### ② 侵襲的治療

自然排石が期待できない場合に侵襲的治療に移行します。結石の位置や大きさによって、体外衝撃波碎石術、あるいは内視鏡による除去術を選択します。

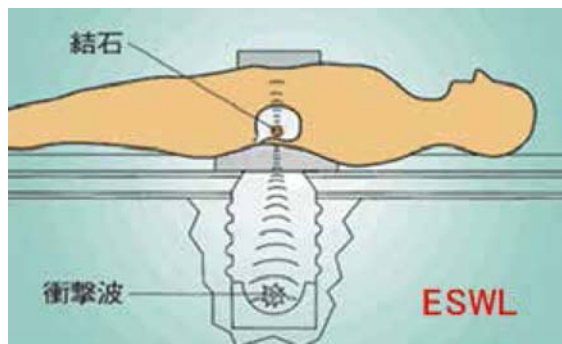
#### 1) 体外衝撃波碎石術 (ESWL) (図①)

衝撃波エネルギーを体内の結石に照射し、結石を碎石する治療法です。碎石されて生じた破砕片は、尿とともに体外に排出させます。麻酔は必要とせず、1泊2日の入院で行います。

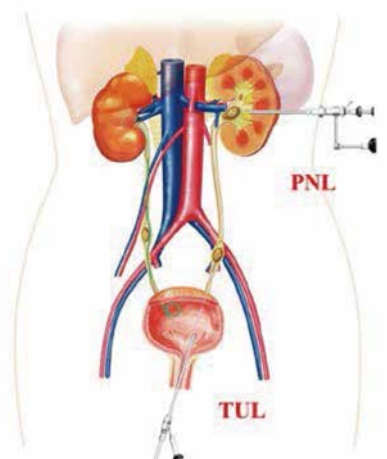
#### 2) 内視鏡による治療 (図②)

経尿道的尿管結石除去術(TUL:尿道から膀胱を経由し尿管に内視鏡を進め結石を除去する) 経皮的腎結石除去術(PNL:背中から腎まで孔をあけて直接腎に内視鏡を挿入し除去する)、を行います。麻酔を必要とし、5日間程度の入院を必要とします。ほとんどの場合が内視鏡手術で解決されるため、開放手術まで必要になる症例は極めて稀です。

当院では、2015年10月から結石破砕装置を完備し、どの治療にも対応できるようになっています。



図①



図②